

(様式 3)

自己評価結果票 (1 F ユニット & 2 F ユニット)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>全職員で恵泉グループホームとしての理念を考え、その中で最も大切にしていきたいことを選び、独自の理念を作っている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>事業所内に理念を掲示している。 また、朝の申し送り時には、皆で唱和し、理念の実践を目指している。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>在宅介護支援センターなどに、パンフレットを置いてもらっている。 また、事業所内にも掲示している。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>住宅街から少し離れているため隣近所という概念があまりないが、同じ敷地内にある他施設のケアハウスや特養の利用者の方との交流を行なう機会がある。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>法人内で開催している盆踊り大会や文化祭などでは、地域の方に参加を呼びかけている。 また、恵泉保育園の園児との交流を持つ機会をつくっている。</p>	<p>地域との交流について、まだまだ実践できておらず、運営推進会議に参加頂いているの方々を通じて、働きかけを行なっている。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	昨年と同様、11月の文化祭の際、基調講演が開催される。 ご家族様や地域の方に参加を呼びかけている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の自己評価および第三者評価の結果全職員に報告し、いつでも閲覧できるようにしており、改善に向けて活用している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、活発な意見のやりとりや質問をいただく重要な機会となっている。 その会議の内容等は報告書を作成し、全職員への周知、サービスの向上につなげている。		
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	明石市へ運営推進会議への参加を依頼するも、当施設だけ参加をするということは難しいという回答で参加していただけていない。 そのため、市と交流する機会を作れていない。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現状として、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会が少ない。		この度、認知症介護実践研修に参加している職員がいる為、全職員に伝達研修を行なう予定である。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	綿密な申し送りや、職員間でケアの統一、言葉の虐待等について詰所会等で話し合うを行なう等で、虐待に対する認識を高めることで防止を図っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	極力、異動がないような体制をとっている。離職者が出た場合には利用者の方に影響がないように気をつけている。		
5.人材の育成と支援			
19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受けた職員は、全職員に内容を伝え、資料があれば配布し、全職員へ周知を図っている。		現在、外部研修を受けている職員はいるが、できるだけ多くの職員が研修を受けれるようにしていきたい。
20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現在のところ交流する機会はない。		
21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	希望の勤務・休暇が取れるよう配慮している。また、急を要する場合（家族が病気など）には勤務変更ができるよう対応している。		
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の目標に向けて向上心を持ち、利用者のことを一番に考え、業務を行っている。日々の取り組みを評価している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>困っていることや希望などが無いが、声をかけたり、日常の会話で聞き出している。また、いつもと様子が違うところがないか常に気にかけている。</p>	<p>各利用者に担当職員を決めたことにより、今まで以上にひとり一人の状況が把握できるようになり、より一層の信頼関係を築いていきたい。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>気になることや希望などはないか職員から尋ねるようにしている。また、相談をされた時にはアドバイスを行なっている。</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けたときにご本人とご家族の「困っていること」「何が必要か」を見極め、他のサービスを含めた情報を提供し、どのサービスが適しているかを検討し、ニーズに素早く対応できるようにしている。</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に見学に来ていただき、グループホームの雰囲気に馴染んでいただく。そして、その時の状況を踏まえ、ご家族様との相談を行い、利用をしていただいている。</p>	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ご利用者様と共に掃除やおやつ作りなどの家事を一緒にに行い、ご利用者様主導での生活環境づくりを行なっている。</p>	<p>ご利用者様の得意なことを知り、教えていただける関係を築きたい</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	ご家族様からご利用者様の今までの生活の情報を頂いたり、何かあれば相談させていただき、助言を得て、介護に参加して頂いている。面会になかなか来られないご家族様には電話などでご本人の状況をお伝えし理解して頂いている。		利用者一人ひとりに担当職員をつけ、担当職員より家族に手紙を出すなどして家族との関係を築いている。
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様にこちらでの生活の様子をお伝えし、ご本人様の希望等、ご協力していただきたいことをお願いし、役割を担っていただいている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の以前に生活していた場所が近隣の場合は、ご利用者様と共に訪問をするなどしている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	何らかの活動を行なうときには、全ての方に参加を促し、全員で行なえる場面も作っている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	何かあれば連絡をいただくようにしており、こちらからも常に相談等行なっている。入院中であれば、お見舞いに行くなどしている。又、他施設に入所された場合は、面会に行くなどしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>ご利用者様と1対1で話をする時間をつくり、一人ひとりのニーズを聞きだして、意向を把握するように努めている。</p>	<p>ご利用者様それぞれに担当職員をつけることで、より深い関りをもてるようにしていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご家族様や以前利用されていたサービス事業者などからも情報を収集し把握に努めている。</p>	
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>ご利用者様一人ひとりの生活を「相談員日誌」「夜勤日誌」「症状記事」に記録し、申し送りなどを通して、総合的に把握するよう努めている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご利用者様、ご家族様、主治医、職員から情報を収集し、それを元に話し合うことで、現状に合った自立支援の介護計画を作成している。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>一定期間ごとの見直しだけでなく、心身等に変化があった場合は、状態に応じた計画になるよう見直しを行なっている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録の充実と確実な情報の共有を図り、介護の実践をしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者様の実状の変化に合わせた柔軟な姿勢で支援している。		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員の方やボランティアの方にも来て頂き、運営推進会議のメンバーの方々にも、ご助力頂いている。		
41	他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他施設他事業所の相談員や介護支援専門員、病院のMSWの方々とも連携し、次の施設への移動や入院や退院への支援も行なっている。		
42	地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	直接的な協働はないが、認知症の方のGH利用についての相談は行なっている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院が可能な方は、今までの医師に診てもらっている方もいるが、ご家族様の希望で24時間体制のホームのかかりつけ医を希望される方が多い。 他科受診も支援させて頂いている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて受診できるように支援している。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎週、火・金曜日に看護師が訪問しており、気軽に相談もでき体調管理への助言を頂くことができる体制がある。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者が入院されたときは、病院側へ必要な情報を提供し、入院中はお見舞いに行くと共に病院側から情報提供を受け、退院後の対応ができるよう連携をとっている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期については、ご利用者様、ご家族様等、ならびに主治医等と話し合いを行い、方向性を共有できるようにしている。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご利用者様の身体状況に応じて適切な環境ができるようチームで常に検討を行なっている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>利用者の情報を詳しく関係者に伝え、環境を整えると共にご家族様に見学していただき、話し合い及び情報を提供するようにしている。</p>		<p>住み替え後も職員が訪問できる体制を取り、住み替え先との情報交換を行なっている。</p>
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報保護規定を定め、マニュアルに基づいた対応を行なっている。一人ひとりの誇り、プライバシーを大切にされた対応を行なっている。</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご利用者様の思い、考えをゆっくり伺い、できること、できないことを話し合い、支援している。</p>		
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一定の生活の流れはある程度決まっているが、ご本人の意思を尊重し、その人らしい生活ができるよう支援している。</p>		<p>食事以外の時間はご本人の意思を尊重している。入浴日以外の日にも希望があれば日曜日以外の毎日提供している。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>筆筒が居室内にあるので、自由に服を選び、着替えていただいている。化粧品も利用できるように各自で持っている。美容に関しては、出張サービスを利用し、カット、顔そり、毛染めを行なっている。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的に嗜好調査を行なっている。食事の準備、片づけを利用者と職員が一緒に行なっている。		
55	利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	日常的にはないが、お酒を飲んで頂く機会はある。 おやつづくりは、好みや希望に合わせて行なっている。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	性格や行動パターンを把握し、その方に合ったトイレ誘導や声かけを行ない、気持ちのよい排泄が行なえるようにしている。		排泄の失敗の少ない方には、オムツやパッドをはずす支援を行なっている。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人で入浴されたい方、熱めが好きな方など、ご利用者様の好みに応じた入浴ができるように配慮している。		月～土曜日で毎日入浴を希望されれば毎日入浴していただいている。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜中までテレビを見られている方もおられるので、体調と生活習慣のバランスが取れるように支援している。		夜間覚醒している方は、様子観察をし、日中に体操して体を動かしていただくなど、眠りに入りやすいように支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれのできる範囲内で、掃除、洗濯、裁縫などを役割をもっていただいている。		


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力にに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の方が買い物の際に職員の支援のもとご自分で支払い等されている。		現在、数人の方がお金の所持をしておられるが、できるだけ多くの方に自由にお買い物に行きけるようにしたい。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	春は桜、夏は海、秋はもみじと、季節を感じていただける様な外出支援をしている。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お墓参り、法事など、ご家族様の協力を得て、外出・外泊をしていただいている。		個人の希望に沿って、図書館、市場、スーパー、ペットショップなど、外出支援を今後もしていきたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には、電話や手紙のやりとりをして頂いている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	笑顔で挨拶を心がけ、お茶の用意をするなど居室でゆっくりしていただけるようにしている。また、食事と一緒にしていただけるようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修や詰所会を通じて拘束に対する理解を深めている。 ただ、現状としては、ご家族様の希望で安全ベルトの着用をしている方もいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各フロアの出入り口はオートロックとなっているが昼間は使用していない。 居室はご利用様が自由に鍵を開閉できるようにしている。		
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご利用様がいる所に職員がつくようにしている。夜間2時間おきに巡回、その日の状況に応じて、頻繁に巡回、ケアを行なう。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	針やはさみなどは詰所で管理。必要時のみ職員と共に取り扱っている。薬は詰所にて管理。塗り薬などご利用者自身に管理してもらっているケースもある。その場合はカルテに記入し、全職員が把握できるようにしている。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	避難訓練については、年2回、職員、ご利用者様共に行なっている。事故を防げるよう詰所会、申し送りノート、口頭での申し送りなどで一人ひとりの状態把握に努めている。 また、事故が発生した場合、事故報告書・事故メモ・ひやりハット報告書を記入し、詰所会で発生防止について話し合いを行なっている。		
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変や事故発生時には緊急対応フローチャートを作成しており、それに基づいて対応を行なっている。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を行なっている。 災害時には緊急対応フローチャートにそって対応している。また併設施設と連携を取れるようにしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>変化のあった場合や現在の状態などご家族様の面会の際、話し合う時間を設けている。</p> <p>また、電話連絡をして、ご家族様との連絡を密にするようにしている。</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>いつもと違う様子に気付いたときは、申し送りや記録を行い、状況によっては、医師へ連絡し、対応している。</p> <p>また、医師と相談の上、家族へ連絡相談を行なっている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬局による薬剤管理の上、毎回の服薬については、カルテに服薬の内容がわかるようにしており、職員全員が把握できる。</p> <p>薬をお渡しする際には、「〇月〇日様の食後のお薬です」と声に出して確認している。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>水分の摂取を積極的に促し、レクリエーションに運動を取り入れたり、散歩するなどして日常生活の中で予防するように心がけている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>歯磨きの声掛け、見守り、義歯洗浄などを行なっている。歯磨きが困難な方に対しては、職員が介助したり、口腔ケアの用具を準備したりしている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員が共に食事を取ることで、食事の進み具合を把握し、会話や声かけを通し、食べやすい環境を作っている。食事以外にもお茶やジュースを提供している。</p> <p>また、食事量や水分量を記録し、必要な摂取量が確保できるようにしている。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染防止マニュアルに基づき、予防、感染時の対応を行なっている。 お茶うがい、手洗いを実施、食事、おやつ前には手の消毒、インフルエンザ予防接種を行なっている。清掃にピューラックスを使用するなど感染予防を行なっている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	日々の清掃やふきん、コップ等の消毒を行なっている。 冷蔵庫内の点検を実施し、賞味期限・消費期限の確認、食べ残りが放置されていないかチェックを行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には植木鉢やお花を生けて飾り、入居者様の作品を展示している。大きいクマのぬいぐるみを置いて、親しみを持てるようにしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	夏は日差しがきついためたてすを使用して直接日光が当たらないよう工夫する等行なっている。 また、季節を感じていただける飾り付けを一緒にしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂とデイルームが離れているため、どちらかで過ごして頂けるようになっている。1F食堂にはソファを置いておいてる。 お一人で過ごされる時間を少なくするためレクリエーションを通して交流をしていただけるように働きかけをしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前から使用されていたふとん類や衣類・家具等を持ってきていただいている。 ご利用者の趣味でお花の道具やお琴を持ってこられるなどしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気にはベランダのガラス戸をあけている。空調はエアコンや換気扇、ドアの開閉だけでなく、たてすを利用するなどして調整している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は安全に配慮したつくりになっており、ご本人に合わせた家具の配置に工夫している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの生活リズムやスピードに合わせた声かけをさせていただいたり、出来る事の可否を考慮しながら支援している。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に野菜や花を植え、草引きや水遣りをご利用者様と職員で行なっている。		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目 (1Fユニット&2Fユニット)		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・毎日のモーニングケアや就寝前のイブニングケア等を充実することで、生活にメリハリができ、また個々に職員が関わることで、すっきりとした起床や、安心して入眠していただくことができています。
- ・今出来ることを活かしての作品づくり等、年1回の文化祭を目標に取り組みを行なっている。